盛工同窓会々報

題字指毫／吉田昭夫同窓会長

浪漫に馳せよう

同窓会長　吉田　昭夫

我が盛工同窓会では、学校の好意で、毎年卒業式の前に同窓会入会式を挙行している。私はこのとき、三年前の入学式で述べた言葉を振返り、それがこれから卒業生が出会う世界を示唆することを話すこととしている。

今回、この祝辞の主旨を同窓生諸氏に紹介し、そこに私なりの浪漫の意味を馳せらせてみたい。その主旨は、

・歴史と伝統を持ち、質実剛健を校風としている岩手県立盛岡工業高等学校への入学の意義。

・これからの三年間は個々の将来の基礎や、人生観を築く大事な年代と考えること。

・当たり前のことであるが、しっかり勉強すること。これが就職、あるいは進学したときの基礎になる。特にも技術は基礎が基本である。

―我が盛工は創立以来百十五年余、歴史と伝統も古く名門の工業高校である―

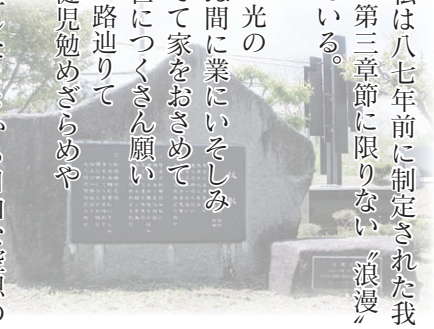
・クラブ活動（体育・文化）に積極的に参加すること。これは他人との協調性が生まれ、そのことによって、なんといっても良い友達が出来ること。

・私は、こういうことを育ませてくれた我が盛工に誰にも負けない母校に対するプライドを持っている。古い言葉に「朋友あい信じ、学を習い業を修め」とあり、正にそのとおりである。

・最後に「集中と信頼」という言葉をエールとして皆さんに贈っている。我が校は、県下のテクニカルセンタースクールとしての規範は勿論であるが、文武両道、質実剛健を全国にその名を知らしめている。これはまさに生徒諸君の集中と信頼のたまものである。

・勉強でもスポーツでも集中することの大事さ、仲間を信じることの大切さ、これが三年間のゴールに繋がる。

最後に、私は八七年前に制定された我が盛工校歌の第三章節に限りない〝浪漫〟を馳せらせている。



(三)紅の頬の光の
　さめぬ間に業にいそしみ
　身をたてて家をおさめて
　国に世につくさん願い
　向上の一路辿りて
　ああ健児勉めざらめや

人間は誕生したときから自由な空想のもと、感情が芽生え、豊かに発育してくる、こういう過程があるといわれている。私は、これが浪漫の原点ではないのか…と、勝手に想像している。

生徒諸君、浪漫に馳せましょう！

次期総会のお知らせ

平成28年度　盛工同窓会・体育後援会総会

期　日：平成28年7月2日（土曜日）
と　き：午後６時～
ところ：ホテルメトロポリタン盛岡・本館

是非ご参加下さい

毎年７月第一土曜日に開催

【発行】平成27年12月１日【発行所】〒020-0841 岩手県盛岡市羽場18-11-1【電話・ＦＡＸ】019(639)5436 盛岡工業高等学校百年館内盛工同窓会

盛工定時制の活動について

体育後援会長
小川久太郎

同窓生の皆様には、いつも多大なご理解とご支援を頂き心より熱く御礼を申し上げます。また生徒諸君は日頃の練習を積み重ね励んでおります。そして今年もレスリング、ウエイトリフティング、アーチェリー、登山、スケート等が国体、インターハイで活躍しております。文化部についてはロボットの競技も大いに活躍しました。

いよいよ2016年はいわて国体を控えておりますので、体育後援会としてもサポートできたらと考えております。

ところで盛岡工業には、定時制という教育方針の制度があり、約三千名の卒業生を輩出している伝統校であります。また、クラブ活動も活発に行われております。尚、スポーツ大会名称が「全国高等学校定時制・通信制体育大会」というスポーツ大会があります。この大会に今年も陸上とバドミントンが三位に入賞しており、卓球、ラジコンの競技も参加しております。

これからも若い後輩の育成の為にも、体育後援会へのご理解とご協力を宜しくお願い致します。

御挨拶

校　長
眞岩　一夫

同窓会会員の皆様には益々御清祥のことお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し、物心両面から御支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

私は4月に着任いたしましたが、盛岡工業高校の創立百十七年の歴史と二万五千名を優に超える卒業者数に、責任の大きさを感じております。学校を取り巻く環境は、少子化による生徒数減、東日本大震災からの復興、高大接続改革など大きく変わってきています。

本校も時代に取り残されることなく変わって行かなければなりません。そこで今年度、盛工生が獲得を目指す力として「挑戦する力」「創造する力」「変化する力」の三つを掲げました。「挑戦」は高い理想を持ち、夢に向かって努力を続けることであり、「創造」は基礎基本の知識技術を習得し、新しいものを生み出すことです。しかし、今までと同じ自分でいたのでは新たな時代に向かって挑戦も創造もできません。そこで過去にこだわらず、とらわれず自分を変える「変化」を三つ目の力としてあげました。

生徒・職員が一丸となり三つの力の獲得を目指して頑張っているところです。そして「挑戦する学校」「創造する学校」「変化する学校」として、文武両面において岩手県をリードする工業高校であり続けたいと思っております。

皆様には、今後とも温かい御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

同窓会事業

H27・4・8　(同窓会事業)
4・9　平成27年度入学式(288名)
4・25　同窓会・体育後援会会計監査
(盛工百年館)
6・6　同窓会・体育後援会役員会
(サンセール盛岡)
同窓会・体育後援会総会
(ホテルメトロポリタン盛岡本館)
同窓会報65号発行
12月上旬　同窓会入会式(記念品贈呈)定時制
H28・2・26　同窓会入会式(記念品贈呈)全日制
2・29　平成27年度卒業式
3・1　(体育後援会事業)
H27・4・25　同窓会・体育後援会役員会
(サンセール盛岡)
4・30　第1回体育後援会費強化費配分
(5月連休合宿、遠征ほか)
6・6　同窓会・体育後援会総会
(ホテルメトロポリタン盛岡本館)
7・上旬　全国大会出場選手激励会・激励金配分
7・21　第2回体育後援会費強化費配分
(夏休み合宿、遠征ほか)
9・16　国体出場激励金、全国大会激励金配分
12・　全国大会激励金配分
H28・1・　国体出場激励金配分
(科・支部活動)
紫工会(学校同窓職員)総会
H27・5・11　寿広支部総会(寿広園)
7・10　桐友会(普通科)総会(ホテルメトロポリタン盛岡「ニューウィング」)
8・8　桜化会(工業化学科)総会(エスポワールいわて)
8・22　機友会(機械科)総会
(ホテルルイズ)
9・5　E友会(電気科)総会(サンセール盛岡)
9・12　東京支部総会
(ホテルラングウッド)
9・27　仙台支部総会
(ホテルJALシティ仙台)
10・30　擬宝珠会(土木科)総会
(ホテルメトロポリタン盛岡本館)
11・18　花巻支部総会(ホテル花城)
11・27　盛岡市役所支部総会
盛岡広域消防支部総会
H28・2・　(三寿司総本店)
2・　二日会(建築科)総会(「ミュニケーションギャラリーリリオ」)
3・2

平成二十七年度盛工同窓会・体育後援会総会

■期日　平成二十七年六月六日（土）
■場所　ホテルメトロポリタン盛岡本館

今年度の総会は、七〇名の皆様のご出席をいただき無事終了することができました。

吉田同窓会長のご挨拶、眞岩校長先生の祝辞をいただきました。続いて、議長に中村孝幸氏（建築科51年卒）を選出し議事に入りました。

はじめに、平成二十六年度事業報告では、総会をはじめ同窓会入会式、部活動の充実を図るための補助事業や体育後援会事業としての強化・激励に関する件、そして各科・支部活動を報告し、決算と合わせて承認をいただきました。つづいて、平成二十七年度事業計画（案）並びに予算（案）、二十六・二十七年度役員（案）について審議をいただき、原案のとおり可決されました。

懇親会は佐々木事務局次長（電子機械科H4年卒）の進行で、吉田同窓会長のご挨拶から始まり、秋の褒章・叙勲の表彰を受けられた「浅沼信一様、柴田幸榮様」二名の同窓生に、同窓会長より記念品を贈り、お祝いをしました。残念ながらご出席できなかった瑞宝単光章の熊谷健二様、同じく瑞宝単光章の斉藤憲昭様、同じく瑞宝単光章の長岡喜栄様は会場でのご紹介とさせていただきました。

そして、本校吹奏楽部が演奏を披露し、小川体育後援会長の乾杯の音頭で会を進め、和やかで楽しい懇談会はあっという間に過ぎ、角清一先生（建築科H12年卒）のリードで校歌を高らかに斉唱し盛会の内に会を閉じました。

参加できなかった会員の皆様、来年度は是非、ご参加下さい。心よりお待ちしております。

平成26年度　同窓会会計決算書

一般会計　平成26年4月1日～平成27年3月31日

収入の部　△は対予算減収　（単位：円）

項目	本年度予算額（A）	本年度決算額（B）	比較増減（B－A）	摘要
繰越金	2,093,933	2,093,933	0	
年会費	1,900,000	2,051,880	151,880	年会費 3,000円
同窓会基金	11,250,000	11,776,500	526,500	在校生より
雑収入	100,000	223,047	123,047	会員名簿・利息等
合計	15,343,933	16,145,360	801,427	

支出の部　△は対予算超過　（単位：円）

項目		本年度予算額（A）	本年度決算額（B）	比較増減（A－B）	摘要
事業費	会報発行費	2,100,000	1,761,728	338,272	平成26年12月発行
	広報活動費	200,000	175,680	24,320	卒業記念品ほか
体育後援費	強化費	7,000,000	6,618,413	381,587	春・夏強化費配分
	部活奨励費	700,000	410,000	290,000	全国大会・インターハイ・国体等
会議費	役員会費	250,000	249,973	27	常任理事会・役員会経費
	総会費	550,000	539,192	10,808	総会経費
事務局費	人件費	1,300,000	1,002,025	297,975	事務職員給与
	旅費	200,000	100,680	99,320	科・支部総会出席旅費
	印刷費	80,000	75,120	4,880	同窓会封筒印刷費
	庶務費	60,000	22,536	37,464	事務用品等
	通信費	200,000	127,911	72,089	切手・電話料金
	雑費	70,000	83,821	△ 13,821	振込手数料・学事職員録・アルバムほか
慶弔費		400,000	310,592	89,408	科・支部総会等のお祝い・レタックス等
予備費		233,933	227,491	6,442	パソコン・プリンター、デジカメ購入費
基金積立金		2,000,000	2,000,000	0	同窓会基金会計への繰出
合計		15,343,933	13,705,162	1,638,771	

（収入総額）16,145,360円 －（支出総額）13,705,162円 ＝（差引残高）2,440,198円（次年度繰越金）

通帳、諸帳簿等を照合した結果、以上の会計に相違ないことを認めます。

平成27年4月9日

監事　鷲　孝雄
小山田　正敏
滝浦　輝雄

★同窓会費納入にご協力をお願いいたします★
同封の振込用紙にて納入して下さい。　**年間費 ― 3,000円**（体育後援会費含む）

平成26年度後期～27年度前期 部活動報告

◆スケート部

平成26年度全国高等学校総合体育大会 第64回全校学校スピードスケート競技選手権大会

【女子】
500m　第29位　高畑　寧々（AD3）
1000m　第36位　高畑　寧々（AD3）

【男子】
500m　第25位　添田　井上（M3）
1000m　第34位　添田　龍汰（M3）
1500m　第49位　斉藤　樹（E3）
5000m　第50位　菅原　龍汰（M2）
　第30位　吉田　裕介（M2）
1000m　斉藤　裕和（E3）
10000m　佳広（ADME2）
20000mR　第28位　吉田　卓史（ME3）

学校対抗別　第21位

第70回国民体育大会冬季大会

【少年女子】
500m　第5位　高畑　寧々（AD3）
1000m　第4位　高畑　寧々（AD3）
2000mR　岩手県（盛農、高橋（盛農）、三島（盛農））

【少年男子】
500m　第6位　添田
1000m　第3位　斉藤　龍汰（M2）
1500m　第5位　吉田　卓史（EM3）
5000m　第6位　吉田　卓史（ME3）
10000m　第8位　吉田　卓史（ME3）
20000m　斉藤（盛工、吉田（盛農）、小野寺（盛三）、斉藤（盛工）

予選敗退

第51回岩手県高等学校新人スケート競技選手権大会

【男子】
500m　第2位　吉田　悠太
1000m　第1位　斉藤　龍汰（M2）
1500m　第1位　斉藤　龍汰（M2）
3000m　第1位　斉藤　佳広（AD2）
5000m　第1位　齊藤　佳広（AD2）
20000mR　長谷川武蔵

（吉田、長谷川、齊藤、斉藤）

学校対抗　第1位

第53回NHK盛岡放送局杯兼平成26年度岩手県スピードスケート選手権大会

【男子】
500m　第8位　齋藤　佳広（AD2）
1000m　第9位　吉田　悠太
1500m　第13位　長谷川武蔵
5000m　第4位　齋藤　佳広（AD2）

◆男子バスケットボール部

第67回岩手県高等学校総合体育大会

3回戦　盛工108―63一関修紅
4回戦　盛工102―67久慈東
準々決勝　盛工66―74一関一
ベスト8

◆バレーボール部

第67回岩手県高等学校総合体育大会

2回戦　盛工0―20　23―25　25―2　遠野

◆水泳部

第67回岩手県高等学校総合体育大会

100m自由形　第14位　中沢　文哉
200m背自由形　第14位　佐々木秀人
100mバタフライ　第13位　中沢　史哉
400m平泳ぎ　第14位　向井　理貴
100mフリーリレー　第15位
800mフリーリレー　第13位

◆柔道部

第67回岩手県高等学校総合体育大会

団体の部　盛工3―1福岡（一勝1敗リーグ2位で予選リーグ敗退）
個人の部
66kg級　浅井田陽久　一回戦敗退
　中川　仲吾　二回戦敗退
　中川　憲伸　四回戦敗退（ベスト8）
73kg級　藤原　龍成　一回戦敗退
90kg級　佐藤　蓮　二回戦敗退（ベスト16）

第42回東北総合体育大会

グレコローマンスタイル
第2位　55kg級　村上　英二（C2）
第2位　60kg級　鈴木　陸（E3）
第2位　66kg級　三上　康太（C3）

3回戦敗退

テクニカルフォール負け

第67回岩手県高等学校総合体育大会

66kg級　三上　康太（C3）
1回戦　田口（滋賀：八幡工業）
テクニカルフォール勝ち
2回戦　対鏡（鹿児島：鹿屋中央）
判定勝ち
3回戦　対梅林（東京：帝京）
テクニカルフォール負け

第61回東北高等学校レスリング選手権大会

個人対抗戦
第3位　55kg級　工藤　隼（ME3）
第3位　66kg級　三上　康太（C3）

国体選手選考会

フリースタイル
第2位　66kg級　鈴木　陸（E3）
第2位　66kg級　三上　康太（C3）
第3位　55kg級　寺田　智大（ME3）
第3位　55kg級　村上　英二（C2）
第1位　66kg級　三上　康太（C3）
第3位　55kg級　石田　航大（E3）
第3位　60kg級　小林　春亜（Ch2）
第3位　60kg級　小林　英二（C3）
第3位　55kg級　村上　英二（C2）
グレコローマンスタイル
第1位　55kg級　村上　英二（C2）
第3位　96kg級　小田中　崇也（Ch1）
第3位　84kg級　藤原　零成（C2）
第3位　74kg級　藤原　崇泉（C2）
第3位　60kg級　田口　智大（ME3）
第3位　55kg級　石田　航大（E3）
第3位　50kg級　寺田　智大（ME3）
第3位　60kg級　鈴木　陸（E3）
第1位　66kg級　三上　康太（C3）
第1位　55kg級　村上　英二（C2）
グレコローマンスタイル
第1位　55kg級　村上　英二（C2）
第3位　96kg級　小田中　崇也（Ch1）
第3位　84kg級　藤原　零成（C2）
第3位　74kg級　藤原　崇泉（C2）
第3位　60kg級　田口　智大（ME3）
第3位　55kg級　石田　航大（E3）
第3位　50kg級　寺田　智大（ME3）
第3位　60kg級　鈴木　陸（E3）
第1位　66kg級　三上　康太（C3）

風になれ今青春が走りだす　2015 君が創る 近畿総体　インターハイ出場報告

〈アーチェリー部〉

監督　角　清一

アーチェリー競技は、8月6日～9日、奈良県橿原市・橿原公苑陸上競技場で行なわれました。昨年の準優勝に続き、入賞を目標に2年生主体のチームで望みました。やはり経験不足からか、不安や緊張などにより思っていたよりもパフォーマンスを落としてしまい、団体は37位。個人でも予選通過する者がいませんでした。

来年に岩手国体を控え、全国の厳しさを各々痛感できた試合だったともいます。そして、来年こそは、生徒達の持ち味を最大限に発揮し、部員一丸となり岩手国体優勝を目指します。

結びに、同窓会並びに体育後援会の皆様には、日頃より大変お世話になっております。この場を借りて感謝申し上げます。

〈左から、工藤(Ch2)、小坂(EI2)、梅澤(EI2)、田村(AD3)、鈴木(M1)〉

〈レスリング部〉

監督　巣内哲司

日頃より、盛工同窓会・体育後援会各位より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、8月2日より京都府舞鶴市において開催されました近畿総体レスリング競技に、本校レスリング部より55kg級工藤隼（電子機械科3年）、66kg級三上康太（土木科3年）の2名の選手が出場いたしました。両名とも6月に開催された東北高校選手権では3位に入賞しており、大会前の合宿を経て上位入賞を目標に大会に臨みました。

結果は非常に厳しく、工藤は一回戦、三上は三回戦で敗退となり、目標であった上位入賞はなりませんでした。しかし、工藤は前年度の県新人大会では3位にも入賞していない選手でありましたが、地道に力を付け、県代表を勝ち取った選手です。そして、三上は今大会優勝者に敗れましたが、試合前半は対等の試合展開をし、また二回戦では九州チャンピオンを破るなどの成長を見せてくれました。

この両名の健闘を糧に、来年に迫る岩手国体では、本校レスリング部の選手・OBが上位入賞するよう一丸となって、より一層の強化を図っていく所存でありますので、同窓会各位の変わらぬご支援・ご指導の程よろしくお願いいたします。

〈ウェイトリフティング部〉

監督　今井達浩

平成27年8月1日から5日まで兵庫県明石市・明石中央体育館で開催され、85kg級の荒屋敷雄基（電子機械科3年）がトータルで4位に入賞した。3月の全国選抜大会で10位に終わった悔しさを忘れずに、自ら積極的に弱点強化に取り組んだことが功を奏した。選抜大会94kg級10位だった工藤聖文（土木3年）は11位に終わったが、国民体育大会では階級を上げて入賞を狙います。最後に日頃からウエイトリフティング部の活動に対してご理解とご協力を頂いております同窓会並びに体育後援会の皆様に厚く御礼申し上げ、インターハイの報告とさせていただきます。

〈三上（C3）、工藤（ME3）〉

〈ソフトテニス部〉

監督　鈴木康弘

平成27年7月28日～31日、奈良県明日香村において2015近畿総体ソフトテニス競技が行われました。本校チームは、大会二日前に現地に入り、調整練習を行って大会に臨みました。団体戦は、出場を逃し、個人戦一組のみでの参加となった今回のインターハイ出場は、選手にとっても全国大会へ望むモチベーションづくりが非常に難しかったのだが、その選手にとっては、最後のインターハイという言葉を胸に努力を重ねて何とか好成績を残してきたいとチーム一丸となって鼓舞してきました。大会当日は、西日本独特の猛暑の中、目の前の一戦一戦に抜群の集中力を発揮し、見事県勢としては13年ぶりとなる5回戦進出ベスト32という好成績を残してくれました。先の6月に行われたハイスクールジャパンカップ（札幌市）において、全国ベスト8に入賞したことが大きな自信になったこと、全国の強豪校の胸を借り大会へ望めたことなどが彼らの原動力となりました。指導者の予想を上回る集中力と勝負強さには、驚きの連続で何よりその成長が監督にとっても大きな喜びでした。選手には、心から感謝しています。また、そんな選手の日々の活動に大きな心で見守ってくれた保護者の方々には、御礼と感謝しております。選手ならびに関係者の皆様、感動をさせていただきありがとうございました。

〈荒屋敷(ME3)、工藤(C3)〉

〈登山部〉

顧問　小野寺　訓

装備、記録・計画書、読図での減点が大きく響き、残念ながら入賞を逃しました。連日、山の上でも30度を超える湿気の多い暑さの中、選手たちは持てる力を出し切りました。3泊4日の幕営での登山。他競技には無い過酷な環境での大会をやりきった経験は、何事にも代えがたい大きな財産となったでしょう。目的を一つに生徒と一緒に過ごした時間は幸せでした。応援してくださった皆様に感謝です。

〈陸上部〉

顧問　村守伸介

出場選手：（Ch3）高野大哉（たかのひろや）

期日：平成27年7月29日(水)

場所：和歌山県紀三井寺陸上競技場

結果：男子ハンマー投

予選1組　20位49m91

日頃より、盛工同窓会・体育後援会各位より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

高野選手は、県高校総体優勝(50m10)、インターハイ東北予選にて5位入賞(50m38)し、インターハイ出場を決めました。インターハイでは、予選通過記録(56m00)を目標にして臨みました。

〈高野(Ch3)〉

今シーズンの高野選手は、大会に出場するたびに、自己記録を更新してきました。現地に入ってからの練習では、自己記録を大きく超える投てきを見せるなど、期待しましたが結果は上記の通りです。インターハイでは『結果』を出すことの難しさを感じたと思います。と同時に、自己記録に非常に近い記録を投てきすることができ、『インターハイ出場』を目標に3年間頑張ってきた高野選手にとっては、ある程度の満足感も得ることができたと思います。

高野選手の努力、普段の練習に対する取り組みや姿勢を間近で見てきた本校陸上競技部の後輩選手たちは、どのように取り組めば、インターハイなどの全国大会に出場できるかがわかったと思います。その高野選手が示したことを生かして、来年の岡山インターハイ、さらには岩手国体に出場して活躍できるよう、部員全体で頑張ってもらいたいです。また、同窓会・体育後援会各位の変わらぬご支援・ご指導の程よろしくお願いいたします。

〈左から、小松平(M3)、高橋(AD3)、熊谷(E2)、前川(E2)〉

2014 冬季インターハイ

〈スケート部〉

監督　植津悦典

盛岡工業高校スケート部は主将の齊藤佳広（建築・デザイン科3年）を中心に、現在3年生3人、2年生1人、1年生4人の計8人で活動しています。今年度は1月に地元で開催される岩手インターハイと岩手国体を控えており、具体的な目標として、東北大会学校対抗優勝（昨年度3位）、インターハイリレー入賞、インターハイ学校対抗入賞、岩手国体で20点獲得することを目指し、部員・顧問・保護者一丸となり練習に励んでいるところです。

有望選手として、斉藤龍汰（機械科3年）は、昨年度全国選高等学校抜スピードスケート競技会の500mの部門で、1回目38・295、2回目38・724の合計タイム77・019で第11位となっており、今年は上位への入賞が期待できます。また米田恵隆（工業化学科1年）、横沢直太郎（機械科1年）は今年入学したばかりですが、それぞれ中学校で優秀な成績を収めており、盛工での更なる飛躍に期待しているところです。その他のメンバーもそれぞれ目標を持ち、盛岡工業のスケート部には欠かせないメンバーとなっています。

例年、岩手県営スケート場がオープンするまでは陸上トレーニングが中心の練習をしているのですが、今年は10月に盛岡市アイスリンクが新設されたため、いつもより早い氷上練習が可能となりました。また、練習には平成25年度の卒業生である芝西佑哉や成年の選手も参加し、大会に向け共に刺激のある練習ができています。恵まれた環境で練習できることや、様々な支援を頂くことができるのも、歴史と伝統のある盛岡工業高校あってこそと、日々強く感じております。各種大会で活躍することで、岩手のスケート界の発展と成長に寄与し、岩手・盛工の力を全国に発信していきたいと考えています。

最後になりますが、いつも支えてくださる同窓生の皆様に感謝申し上げるとともに、今後も一層のご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げ、スケート部の報告とさせていただきます。

〈添田(E3)〉

〈高畑(AD3)〉

科だより……土木科

【土木科紹介】

土木科長
菊池　平

本校は、明治三十一年に開校し、今年で百十七年の歴史と伝統を誇る学校です。土木科については大正十二年に設立され、今年で九十二年になります。卒業生の多くは全国各地でその専門技術を活かし活躍しています。

学科の特色として、資格取得に力を入れています。特に二級土木施工管理技術検定試験については、七年連続県内合格率一位を達成することができました。例年全国での合格率は四十～五十％台ですが、本校土木科では一昨年度が八十六％、昨年度はなんと九十二％の合格率でした。先輩たちが残した記録を止めてはならないと朝学習や放課後学習を通して全員合格に向けて取り組んでいます。また測量士補国家試験では、昨年度の卒業生で十五名の合格者。今年の三年生で十一名の合格者が出ており、三十～四十％の合格が続いています。意欲をもって取り組んだ結果が実を結んでいます。

次に進路状況ですが、就職については建設関係の会社を中心に、例年百％の内定を早い時期よりいただいております。特にも、ここ数年は沿岸の復興事業の影響で求人数も多く土木を目指す生徒にとっては追い風となっています。また、公務員（土木技術職）にも採用されています。国家公務員、岩手県職員、各市町村職員などです。中でも、今春採用となった公務員は四名ととてもよい結果が得られました。早い時期より公務員試験に向けた準備が必要ですが、模擬試験や放課後学習で効果的に力をつけた生徒ばかりでした。進学については四年制大学、専門学校など目的に合わせた学校を自ら選択し、ほとんどの生徒が学校推薦で合格している状況です。

土木科では運動部を中心に活躍する生徒が多く、全国大会に毎年出場しています。厳しい練習を重ねながら、学習との両立を図っており、規律を守って生活行動する人材を育成しています。

定時制だより

定時制の近況

定時制総務部長　**前田康雄**

同窓会会員の皆様には、日頃より定時制教育の振興に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

定時制の昨年度の卒業生就職状況は、五人全員が決定しました。就職においては管内二名、県内一名。進学においては短期大学校一名、高等技術専門校一名と、それぞれの進路希望先に決定しております。生徒自らの強い意志と努力もさることながら、職員も一丸となって取り組んだ成果だと思います。

今年度になって、新入生が六名入学し、二年生二名、三年生二名、四年生二名、合計一二名となりました。その内、三年で卒業できる三修制選択者は五名と、四修制選択者より下回り、平成十四年以来、平成二十五度に続いて二度目と四修制選択者が増えており、定時制希望生徒の志向に変化が表れています。

高総体では、陸上競技、卓球、バドミントンの三つの部が出場しました。陸上競技部は五月二十二日～二十四日に、北上総合運動公園陸上競技場で行われ、五種目に三名が出場し、二年生の柴谷啓暉が、「走幅跳」と「100m」で第三位。三年生の嘉倉和馬が、「砲丸投」「円盤投」で第二位。一年生の西谷秀成が、「1500m」で第一位と三名とも健闘し、全国大会への切符を手にしました。学校対抗は、第三位でした。卓球部は、五月三十日に杜陵高校体育館で行われ、三名が出場しました。学校対抗は、二回戦で大船渡に負け、第三位。シングルスは、三年生の樋口道明が、三回戦で敗退しベスト八でした。三年振りのバドミントン部は、学校対抗で第三位。個人対抗では佐々木剛毅が、ベスト八と奮闘しました。

八月に行われた全国定時制通信制体育大会陸上競技では、上位入賞には届きませんでしたが、貴重な経験を通して今後の生活に生かされていくと思います。全国大会出場に際しましては、同窓会・体育後援会から、今年度強化費として、さらなるご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

資格取得では、昨年度に引き続き、第二種電気工事士に一名が合格しております。

九月二七日（日）には、岩手県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会が、一関第一高校で行われ、本校から二年生の藤原舞が「心の模様替え」と題して発表しました。その結果、第三位となる一関市長賞を獲得しました。これからの成長を期待したいと思います。

十月二五日（日）には、新青森県総合運動公園サブアリーナで行われたロボット相撲東北大会に、昨年度に引き続き参加しました。残念ながら入賞は出来ませんでしたが、技術の巧みを学び、来年に向けて研鑽を深めているところです。

現在、定時制の就業率は、五十％と、昨年度より増えました。「働きながら学ぶ」という定時制の本分を忘れずに、生徒・職員一丸となって、努力を続けてまいりたいと思っております。

今後とも、定時制のご支援をよろしくお願い致します。

平成26年度　各科進路先一覧

（企業名及び校種別の学校名は五十音順）

＜機　械　科＞

【管内企業】 岩手土地改良事業団体連合会（水土里ネットいわて）、岩手県北自動車㈱、岩手トヨタ自動車㈱、㈱カガヤ、北日本機械㈱、白石食品工業㈱、柴田工業㈱、地熱エンジニアリング㈱、㈱トライス、ニチコン岩手㈱、ミクニ盛岡事業所、盛岡ガス工業㈱、㈱やまびこ盛岡営業所

【県内企業】 岩手缶詰㈱、㈱多加良製作所岩手工場

【県外企業】 いすゞ自動車東北㈱、西武鉄道㈱、山王テック㈱、トヨタ自動車東日本㈱本社大衡工場、東北電力㈱、東芝エレベータ㈱東京支社、パナソニックＥＳ産機システム㈱、日野自動車㈱（２名）、日立建機日本㈱、㈱ロッテ本社

【公 務 員】 一般曹候補生、自衛官

【進　　学】 岩手県立産業技術短期大学校矢巾校、岩手県立二戸高等技術専門学校（２名）、岩手県立宮古高等技術専門学校、赤門自動車大学校、大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校（２名）、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ、仙台リハビリテーション専門学校

＜電子機械科＞

【管内企業】 コマツ岩手(株)、昭和パックス㈱盛岡工場、ＪＲ盛岡鉄道サービス㈱、日産部品岩手販売㈱　ニチコン岩手㈱、盛岡セイコー工業㈱、東日本機電開発㈱、㈱吉田測量設計

【県内企業】 ㈱アイオー精密、シチズン時計マニュファクチャリング㈱東北北上工場、㈱みちのくクボタ、リコー光学㈱

【県外企業】 ㈱アーバンテクノ、アイダエンジニアリング㈱、アイエックス・ナレッジ㈱、ＡＢＣシステム㈱、㈱コムテック、㈱サンデー、新明和工業㈱タキガワ・コーポレーション・ジャパン、東京ビジネスサービス㈱、日総工産㈱エンジニアリング事業部東北テクニカルセンター、㈱日立ビルシステム東北支社、㈱レンテック、横河電子機器㈱秦野事業所、ＡＴアクト

【進　　学】 獨協大学、東洋大学、東京国際大学、千葉工業大学、北海道科学大学、盛岡大学、岩手県立産業技術短期大学校矢巾校（３名）、東日本航空専門学校、盛岡医療福祉専門学校、専門学校盛岡カレッジオブビジネス

＜電　気　科＞

【管内企業】 岩舘電気㈱、北日本通信㈱、㈱北岩手電工、㈱興和電設、小岩井農牧㈱小岩井農場、地熱エンジニアリング㈱、㈱東北ターボ工業、東北水力地熱㈱（２名）、㈱二富電機、みちのくキヤンテイーン㈱

【県外企業】 ㈱一大通信、京急鉄道施設㈱、ＪＲＣシステムサービス、新日鐵住金㈱名古屋製鐵所、ＪＦＥ環境サービス㈱、一般財団法人東北電気保安協会（２名）、㈱ネシックアセレント、太平ビルサービス㈱東京支店、東芝エレベータ㈱東京支社、ＤＯＷＡテクノエンジ㈱、㈱トークス、東北電力㈱（２名）、東北計器工業㈱、㈱東北日立、東日本旅客鉄道㈱、明電アクアビジネス㈱、パナソニックＥＳ産機システム、㈱北海道電力㈱、㈱ユアテック

【進　　学】 関東学院大学、山梨学院大学、岩手県立産業技術短期大学校矢巾校、岩手県立産業技術短期大学校水沢校、上野法律ビジネス専門学校、大原スポーツ公務員専門学校盛岡校、花壇自動車大学校、岩手看護専門学校

＜電子情報科＞

【管内企業】 岩手電工㈱、エクナ㈱、社団医療法人康生会　鶯宿温泉病院、シンエイシステム㈱、㈱西組、日東通信㈱岩手支店、㈲北新電気工業社、盛岡東京電波㈱（２名）

【県外企業】 ㈱エヌ・ティ・ティエムイー（ＮＴＴ-ＭＥ）（２名）、システムアンドソフト㈱、新コスモス電機メンテナンス㈱、寺岡オートドアシステム㈱、東北電力㈱、トッパン・フォームズ・オペレーション㈱、富士電機㈱千葉工場

【公 務 員】 警視庁

【進　　学】 岩手県立大学（３名）、東京国際大学、東北工業大学、岩手県立産業技術短期大学校矢巾校（４名）、新渡戸文化短期大学、東北工業大学、一関工業高等専門学校、専門学校デジタルアーツ仙台校（２名）、盛岡情報ビジネス専門学校（２名）、北日本ヘアスタイリストカレッジ、東北電子専門学校（３名）、上野法律ビジネス専門学校（２名）

＜土　木　科＞

【管内企業】 ㈱エヌティーコンサルタント、㈱タカヤ、㈱佐々木組、三陸土建㈱、㈱司組、㈱中村建設　中亀建設㈱、東野建設工業㈱、㈱北興建設、㈱水清建設、㈲盛岡共同技術センター、㈱吉田測量設計、菱和建設㈱（２名）

【県外企業】 大阪シーリング印刷㈱、鹿島道路(株)、㈱佐藤渡辺、新日鐵住金㈱君津製鐵所、新日鐵住金㈱名古屋製鐵所、世紀東急工業㈱、仙建工業㈱、東京技工㈱、㈱トマック、東京水道サービス㈱、日本道路㈱東北支店、日特建設㈱、長谷川体育施設㈱、平岩塗装㈱、㈱マルテー大塚、山崎建設㈱東北支店、㈱プロレスリング・ノア

【公 務 員】 国家公務員技術、岩手県職技術、盛岡市職技術

【進　　学】 岩手県立農業大学校、大原スポーツ公務員専門学校盛岡校

＜工業化学科＞

【管内企業】 合資会社東家、浅沼電気商会、兼平製麺所㈱、泉金物産㈱、第一開明㈱、㈱田中工業所、大東環境科学（２名）、㈱東亜電化、㈱平金商店、盛岡セイコー工業㈱、盛岡ガス工業㈱、㈱薬王堂、

【県内企業】 東北日東工業㈱

【県外企業】 ㈱アカギ東日本、㈱ＮＵＣ川崎工業所、㈱オー・エル・エス、関東化学㈱草加工場、佐川急便㈱東日本支社、精工化学㈱川口工場、積水武蔵化工㈱、大東化学㈱平塚工場、龍田化学㈱古河工場、Ｔ＆ＫＴＯＫＡ埼玉事業所、㈱トッパンコミュニケーションプロダクツ、日本合成アルコール㈱川崎工場、富士石油㈱袖ケ浦製油所

【進　　学】 東北工業大学、秋田職業能力開発短期大学校、大原スポーツ公務員専門学校盛岡校、仙台工科専門学校、花壇自動車大学校

＜建築・デザイン科＞

【県内企業】 ㈱小松組、㈱小林精機、㈲曽我工務店、㈱タカヤ、土橋工務店、㈲戸塚商店、中亀建設㈱、㈱ベルプラス、㈱恵工業

【県内企業】 ㈱佐々木組

【県外企業】 旭化成住宅建設㈱、㈱安藤・間、積和建設東北㈱、㈱田中建設、中村表装㈱、ポラテック東北㈱、㈲六大設計

【公 務 員】 一般曹候補生

【進　　学】 東北工業大学（２名）、東北芸術工科大学、長崎国際大学、岩手県立大学盛岡短期大学部、新渡戸文化短期大学、岩手県立二戸高等技術専門学校（２名）、岩手県立産業技術短期大学校矢巾校（２名）、岩手県立産業技術短期大学校水沢校（２名）、上野法律ビジネス専門学校、彰栄リハビリテーション専門学校、仙台デザイン専門学校、東北電子専門学校、専門学校デジタルアーツ東京、仙台ヘアメイク専門学校

＜定時制工業科＞

【管内企業】 第一商事株式会社、株式会社業配

【県内企業】 有限会社丸安工務店

【進　　学】 岩手県立産業技術短期大学校矢巾キャンパス建築科、岩手県立宮古高等技術専門校自動車システム科

支部報告

機友会

第四十回機友会総会報告
事務局　小笠原富雄（49年卒）

平成二十七年九月五日（土）ホテルルイズで開催され、前年度事業・決算、本年度事業計画及び予算案が承認されました。今回は総勢66名の参加があり、ここ数年毎年参加者が増えております。

講演会では、啄木ソムリエの山本玲子さんをお迎えして「啄木と盛岡の音の風景」と題し石川啄木が盛岡で過ごした当時の模様をスライドと音を交えながら、啄木の魅力と感動を伝えていただきました。

続いて、懇親会では、眞岩校長、吉田同窓会長、小川体育後援会長、そして二日会、桜化会、桐友会、E友会の各代表、同窓会事務局次長のご出席を賜りました。同窓会長、校長からご挨拶をいただき、体育後援会長の乾杯でスタートしました。平成二十六年秋の叙勲の栄に浴された、同窓会副会長でもある、浅沼信一氏に花束の贈呈を行い、みんなで祝福しました。その後、ビンゴゲームなどがあり、大いに盛り上がりました。学生時代を思い出しながらの会話や近況など話は尽きないのですが、最後に機械科賛歌そして校歌を全員で斉唱し盛会の内に締めることができました。

今回は、初参加の会員が10名近くあり、ご高齢の方に気なる会員から昨年卒業したばかりの若い会員まで幅広い年齢層の顔ぶれでした。

次回も、機械科卒業の皆様の、多数のご参加をお待ちいたしております。

会長　竹田浩久（四八年卒）

二日会

盛工建築科二日会第四十八回総会
事務局　中村孝幸（51年卒）

三月二日に例年通り二日会は開催しました。今回、川邊会長の勇退をきっかけに役員の刷新がございました。

新会長として鷹羽金司（七一回生）さんが選出されました。また副会長を門屋龍一（七二回生）赤坂忠美（七四回生）佐々木佳裕（七六回生）となり組織の若返りとなりました。事務局は引き続き中村孝幸（七五回生）が勤めさせていただきます。

本年も大通組合の会館（コミュニケーションギャラリーリリオ）の三階大ホールで開催しました。

懇親会には前日の卒業式の大役を終えた母校の藤原校長先生、佐々木副学校長、建築・デザイン科の外里先生、新里先生、また吉田同窓会長、小川体育後援会長、各科の同窓会長さんたちの参加をいただきました。

例年通り同窓生のお顔を見ることの出来る良い会なのですが、新しい会員の出席をいただけていないのが例年通りの課題となっております。今年の参加者は56名でした。また会の中では懐かしい応援歌や科歌の合唱もありました。

本年度の予定は下記の通り開催いたします。各クラスの幹事の方から連絡が行かないという声もございますが、直接申し込みいただけますのでどうぞご参加くださいますようお願いいたします。

日時　平成二十七年三月二日（水）
　　午後五時三十分から
会場　コミュニケーションギャラリーリリオ
連絡先　事務局連絡先
（019－647－1651　和見設計舎内）

最後に建築士をめざす後輩の方々には頑張っていただきたいと思っておりますが、思い起こせば私たちも簡単に試験を通過したわけではありませんでした。一度同窓会にご参加ください。

会長　鷹羽金司（四七年卒）

擬宝珠会

平成二十六年度擬宝珠会総会報告
事務局　小山田正敏（42年卒）

平成二十六年度の擬宝珠会総会は、平成26年11月18日（火）、ホテルメトロポリタン盛岡にて開催されました。

御来賓として、母校から藤原校長、岩渕副校長、佐々木副校長、土木科の佐々木科長、菊池先生、畠山先生（盛工同窓会事務局長）、中野先生、そして、小川体育後援会会長、竹田機友会会長、中村二日会事務局長、金谷桜化会会長、鈴木桐友会会長、安部E友会会長、記念講演講師の田﨑様にご臨席いただき、擬宝珠会会員63名と合わせて77名が出席し開催されました。

初めに恒例の記念講演が行われました。丁度大河ドラマ「軍師官兵衛」で放送中の黒田官兵衛について、盛岡市先人記念館主任学芸員の田﨑農巳氏に、「黒田官兵衛と盛岡」の演題で、ご講演いただきました。

桜花会

第三十九回桜化会総会報告
事務局　下田利秋（42年卒）

平成二十七年度、第三十九回桜化会総会及び懇親会は、八月二十二日（土）エスポワールいわてにて開催されました。

総会では、平成二十六年度の決算報告と役員改選案を満場一致で承認されました。

役員改選では、同窓会盛岡広域消防支部長の岩舘清彦さん（四九年卒）と、山本久美さん（四四年卒）2名の理事への推薦があり承認されました。

懇親会には、母校から眞岩一夫校長先生と工業化学科長の横向利昌先生、そして同窓会からは、吉田昭夫同窓会長、小川久太郎体育後援会長、細越孝範機友会副会長、門屋龍一二日会副会長、鷺孝雄桐友会事務局長、竹田正男擬宝珠会副会長、安部司E友会会長のご臨席を賜り盛会のうちに終了致しました。

今回は母校吹奏楽部に演奏をお願いして、校歌・応援歌他全五曲を演奏して頂きました。すばらしい演奏に拍手が鳴り止みませんでした。

総会は、出席者全員で校歌を斉唱し、その後議事に入り、平成二十五年度各種事業が承認されました。また、平成二十五年秋の叙勲受賞の3名が紹介されました。

懇親会は、藤原校長と佐々木科長のお二方から、学校と土木科の近況を含めてご挨拶をいただき、祝宴となりました。今年は、新卒者2名にも参加していただき、例年以上に、先輩と後輩が交流を深めて、近況や思い出話に花を咲かせ、それぞれ記念写真を撮影するなど、大いに盛り上がりました。

はあっという間に過ぎ、大変名残惜しかったのですが、母校の益々の発展と土木科の更なる飛躍、出席者のご健勝ご多幸を祈念して閉会しました。

創設九十二年目を迎える土木科が、百周年に向けて益々輝かしい歴史を刻むこと、擬宝珠会総会に、さらに多くの皆様に参加していただくことを心から願って報告といたします。

会長　吉田昭夫（二七年卒）

桐友会

第三十四回桐友会総会報告
事務局　鷺　孝雄（41年卒）

平成二十七年度、第三十四回桐友会総会・懇親会は八月八日（土）ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングに来賓9名、会員76名計85名参加のもと開催されました。今年は恩師の小川桂史先生の出席が予定されておりましたが直前に体調不良という事でご臨席いただけませんでした。総会に引き続き開かれた懇親会には学校側から、浅沼孝夫副校長、日頃同窓会活動にご尽力頂いておられる吉田昭夫同窓会長、小川久太郎体育後援会長、金谷栄治桜化会会長、宮川寿機友会副会長、鷹羽金司二日会会長、武田太一擬宝珠会副会長、安部司E友会会長、佐々木大祐同窓会事務局次長のご臨席を賜り、澤田弘実行委員長、鈴木浩桐友会会長の挨拶の後、小川久太郎体育後援会会長の乾杯の音頭で懇親会の幕が上がった。年代、先輩、後輩の垣根を取り払い和気藹々のうちに最後は応援団長であった佐々木端瑛さん（三九年卒）の発声のもと、参加者全員で校歌を斉唱し閉会、その後それぞれ二次会場へと流れていきました。

会員の高齢化に伴い、今年から会費も千円値下げし多くの会員に参加して頂こうと検討されましたが、昨年を上回る事が出来ず残念です。来年こそ今年の参加人数を超える総会になる事を期待しています。

会長　鈴木　浩（三三年卒）

尚、平成二十八年は、第四十回と節目の総会であります。金谷会長も挨拶の中で50名規模の総会にしたいと言われておりますので、ぜひ多数のご参加をお待ちしております。（詳しくは盛工同窓会HPでお知らせ致します）

又、今回の運営におきまして、事務局の不手際によりたくさんの方々に多大なご迷惑をお掛けしました事を深くお詫び申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

会長　金谷栄治（二八年卒）

E友会

第十三回E友会総会報告
事務局　川村　敬（43年卒）

平成二十七年度のE友会総会及び懇親会は十三回を数え、九月十二日（土）午後六時よりサンセール盛岡で開催されました。総会は安部司会長の挨拶で始まり、平成二十七年度経過報告・決算報告・監査報告・次年度の事業計画及び日程また人事異動により役員の一部承認・質疑応答で閉会いたしました。その後、来賓・同窓生の集合写真を撮り懇親会に入りました。

今年度は眞岩一夫学校長、吉田昭夫同窓会長、小川久太郎体育後援会長、桜化会会長、桐友会、擬宝珠会、同窓会事務局の各代表、電気科旧職員・現職員、同窓生計30名のご臨席を賜りました。同窓会長の挨拶で、全体の同窓会の他に各支部の総会が盛大に開催されているのは盛工同窓会だけなので、今後も参加者を多くし開催されるよう激励されました。

参加された皆様は、近況や親交を温め終始和やかな雰囲気の中、時間が経つのが早く感じられ、E友会旗引継ぎ、校歌斉唱をし閉会いたしました。名残惜しい総会になりました。

来年度は講演会を企画し、旧担任、旧・現職員の方々の協力を得て、若い会員の方が参加しやすい総会にしていきたいと思っています。各年代のご参加をお待ちしています。

会長　安部　司（三七年卒）

盛岡市役所支部

事務局　小笠原雅彦（土木59年卒）

市役所支部は、総勢70名程の会員の近況報告と支部活動の確認として、毎年定期総会を開催しております。今年は二月二日エスポワールにて開催し、会務報告と収支決算報告並びに次年度予算など恒例の議案承認を行いました。

総会後の懇親会には母校から岩渕健一副校長と吉田昭夫同窓会長、新里善徳同窓会事務局次長のご出席を頂き、母校の近況や盛工生の活躍をお知らせいただき、感謝の思いを抱きながら歓談に花を咲かせました。ご出席頂きました皆様方に御礼申し上げます。

いよいよ来年に迎える「希望郷いわて国体」は、昭和四十五年開催の本大会開催以来四十六年ぶり二回目、冬季大会は十八年ぶりと本大会と冬季大会が同一県で行われる「完全国体」は本県で始めての開催となります。既に、競技別のリハーサル大会が県内各地で始まっており、支部会員も競技運営に携わりながら競技関係者への「おもてなし」に努めているところであります。もちろん母校の活躍を期待しますし、地元国体に向けて日々、合宿や遠征などの強化に取組む盛工生を支部一同応援しております。

今後益々の盛工の活躍を御祈念申し上げ、支部活動報告とさせていただきます。

支部長　鈴木　薫（機械五十年卒）

寿広支部

幹事　竹田和広（工化H8卒）

発足以来「寿広支部総会」も12回を数えますが、去る7月10日例年通り鶯宿「寿広園」にて開催されました。懇親会では西光栄副校長、吉田昭夫同窓会長の御臨席御挨拶を賜りながら和やかに楽しいひと時を過ごしました。宴たけなわの頃には母校にエールを送り体育会系の後輩たちに奮起を促すべく、老いも若きも持てる声を出し切っての応援歌の大合唱となりました。いつ叫んでも母校の応援歌は心ときめくものがあります。肩を組み腹を揺らせて次回の再会を誓い合いました。

この秋はイングランドでのラグビーW杯日本代表の活躍が大きな話題となっていますが、寿広では社会人クラブチームである「北上矢巾ブレイズラガー」を応援しています。東日本トップクラブリーグに所属し既に今シーズンは2戦2勝（10月4日現在）東北を代表するアマチュアチームとなってますが東北勢初のリーグ優勝をめざし、W杯日本代表に負けじと張り切っているところです。総勢68名、平均年齢34歳の選手53名の中には、我が寿広支部会員も10数名所属しておりますが、チーム全体では盛工OBは30名を大きく超え主力として活躍しているところです。

母校後輩たちの為にもブレイズラガーのメンバーには社会人枠の中で大いに気を吐いてもらいたいところです。現在、支部同窓会員数は社外会員様を含めて35名となっていますが、上記の様なフリーの社外会員を積極的に募って一人でも多く仲間の輪を育てて参りたいと考えています。

仙台支部

副支部長　阿部　明（機械38年卒）

仙台支部は今年度も「若さを保ちながら会員との交流をより深めよう」というテーマを基に役員会（紅稜会と呼称）を大衆酒場で何度か開催し口角泡を飛ばしながら、多くのイベントを企画致しました。

その第一弾として「春の園遊会」を四月十五日に桜の名所である仙台駅隣の榴ヶ岡公園で行い9名の参加者が花に酔い、お酒に酔いしれました。次に「春のパークゴルフ」を五月十五日に計画するも春の嵐でやむなく中止。そして「春のゴルフ」を「仙台ヒルズゴルフクラブ」で六月十四日に開催し、二パーティ（8名）で楽しい雰囲気の中でゲームを無事終了。

夏はやはりビール…とばかりに七月二十三日に近くの「キリンビアポート仙台」で開催するも各人の都合がつかなくなり、この計画も泡と消えてしまいました。

「秋のゴルフ」を九月十一日に計画したが、全国規模の大雨被害で交通マヒで中止。現在は「秋のパークゴルフ」を十月十五日予定で計画し、今は出場者募集中で今度こそは楽しいイベントにしようと、雨に流されない事を只々祈っている状況です。

また今年の最終イベントは十月三十日の「宮城の集い」を行うべく案内を会員に送付したところで〝多数の参加…〟という嬉しい頼りを毎日首を長くしている現在の役員一同です。

支部長　藤澤達郎（電力三八年卒）

東京支部

事務局　鈴木正敏（普通36年卒）

九月二十七日（日）ラングウッドの展望室にて、母校から西副校長、吉田同窓会長、上原体育後援会副会長、滝浦ラガーOB会長、佐々木事務局次長を御迎えして、神太郎（大内康）氏の久しぶりの司会で開催。

山崎支部長は同窓生の加入が少なく固定化されて減少の先行不安を語られました。事務局は一年間の県人会、東京盛岡会等の多々なる参加報告と、年間四名の物故者、体調崩して脱会者5名の報告。十二林会計担当からの会計報告。玉山、中本会計監査報告が承認されて無事総会が終了。

懇親会に移り、西氏からは学校全体の活躍報告、特にアーチェリーの驚異的な連覇には驚きの声があがりました。

吉田氏は毎年卒業生が関東に来てますから是非とも加入案内など考慮してみてはとの提案などがあり、参考にしたいと思いました。

滝浦氏の挨拶時には当日の祝勝会をと予定していましたが、敗戦の報告が入り名門だった母校の花園の道はまた遠退き残念でした。

上原氏の乾杯で歓談とお酒が入り、会場は盛り上がり、又、普通科十回生7名出席し、卒業写真の顔と比較して大爆笑でした。

笹田副支部長が、サッカー熱に完全に奪われた昨今、W杯、リーグ戦などの熱狂を解説、母校再生への方向性などを熱弁して頂き大喝采でした。

佐々木氏の中締めにて二次会へと移行。

袴田あじさい会は、神氏公演の博品館劇場俳優座劇場での鑑賞。恒例の隅田川花火大会はスカイツリーを横に宴会と共に観照しました。

公演、花火などは御夫婦で参加してますので、事務局に一報頂ければ御案内状を送付します。

支部長　山崎重人（普通四一年卒）

同窓生の寄稿「岩手国体に向けて」

横澤　徹 氏
レスリング競技
盛岡市役所勤務
H20年 Ch卒

まず始めに、盛岡工業高校を卒業してからレスリングを続ける環境を下さった関係者、応援している方に感謝を申し上げます。

来年に控える岩手国体に向けて日々の練習に取り組んでいます。9月に行われた和歌山国体では、初戦敗退という結果に終わってしまいましたが、岩手国体では上位入賞できる感触を得ています。

現在私は盛岡市役所に在籍し、スポーツ枠二期生として仕事と練習に務めています。

今年は、あまりよい成績が出来ず苦しい年になっています。しかし、高校生の時も同様に苦しい時期があったからこそ、苦しさを糧として全国大会で力を発揮することができ、優勝することが出来ました。

今、苦しい時期を抜けて来年度の活躍を約束したいと思います。

最後に、岩手国体の成功の為、多くのご協力が必要です。お近くの会場に足を運んで岩手県選手に声援をお願いします。

芝西　佑哉 氏
スケート競技
山王海土地改良区勤務
H25年 M卒

私は、山王海土地改良区に就職して今年で二年となり、主にダム、幹線水路などの農業用施設や農業用水を管理する仕事をしています。徐々に慣れ、日々やりがいを感じながら働いております。

高校から始めたスピードスケートは現在も続けております。高校時代から練習環境に恵まれ、卒業してからは働きながら練習し、職場の方々には迷惑をかけておりますが深い理解をいただき、大会への出場もしてきました。

今年度は岩手国体があり、地元での大きな大会となります。この大会では今までお世話になった指導者や先生方、支えてくれた仲間や先輩、後輩、家族への感謝の気持ちが伝わるレースをし、その姿や結果という形での恩返しもしたいと思っております。岩手県選手の応援をしてくださる皆様に少しでも感動を伝えられるように良い結果を目指して頑張りますので応援の程、宜しくお願い致します。

紀の国 わかやま国体 ～同窓生の結果～

ウエイトリフティング競技
成年62kg級
岩谷堂高校教諭　内村　湧嬉
（電子機械科平成21年度卒）
スナッチ　第6位
C&ジャーク　第2位
トータル　第2位

栄えある受章 おめでとうございます

（平成二十六年 秋の叙勲）

旭日小綬章（地方自治功労）
浅沼　信一 氏
（定時制機械科昭和36年卒）

瑞宝単光章
（へき地保健衛生功労）
柴田　幸榮 氏
（普通科昭和38年卒）

瑞宝単光章（郵政業務功労）
熊谷　健二 氏
（定時制機械科昭和42年卒）

瑞宝単光章（矯正業務功労）
斉藤　憲昭 氏
（電子科昭和45年卒）

（平成二十七年 春の叙勲）

瑞宝単光章（社会福祉功労）
長岡　喜栄 氏
（定時制機械科昭和43年卒）

同窓会

平成二十六・二十七年度 役員について

【顧　問】
久慈　次男（建築17年）
眞岩　一夫（学校長）

【会　長】
吉田　昭夫（土木27年）

【副会長】
金谷　栄治（工化28年）
鈴木　浩（普通33年）
浅沼　信一（定機36年）
鷹羽　金司（建築47年）

【常任理事】
機友会代表　竹田　浩久（機械48年）
二日会代表　鷹羽　金司（建築47年）
擬宝珠会代表　武田　太一（土木32年）
桜化会代表　佐藤　哲（工化35年）
桐友会代表　吉田　勉（普通39年）
桐美会代表　畠山　眞（デザイン56年）
E友会代表　安部　司（電力37年）
電子科代表　佐藤　和司（電通37年）
市役所支部　鈴木　薫（機械50年）
仙台支部　藤澤　達郎（電力38年）
東京支部　山崎　重人（普通41年）
八戸支部　林崎　尚徳（工化26年）

【監　事】
鷺　孝雄（普通41年）
小山田正敏（土木42年）
滝浦　輝雄（工化44年）

体育後援会

（＊は同窓会役員と兼務）

【顧　問】
＊眞岩　一夫（学校長）

【参　与】
＊佐々木正孝（工化27年）

【会　長】
小川久太郎（建築31年）

【副会長】
渡邊　力（建築31年）
＊上原　充郎（普通36年）
＊大星　篤郎（土木37年）
＊白根　敬介（土木41年）

【理事長】
川村　英二（建築H11年）

【常任理事】
＊武田　太一（土木32年）
＊浅沼　信一（定機36年）
下向　均（建築48年）
＊佐々木光男（副校長）
＊小林　俊博（生徒部長）

平成二十七年度 盛工同窓会事務局

事務局長　畠山　剛
事務局次長　佐々木大祐
体育後援会理事長　川村　英二
事務局
小野寺　稔　新里　善徳
藤澤　秀明　角　清一
小原　義巧　舘澤　文枝